

○呼吸機能検査 2000円（税込み）

息を大きく吸ったり、吐いたりすることで肺の機能を測定します。

- ・ 肺活量…肺の中にどれだけの空気を出し入れすることができるか、肺のボリュームを測定したもの
- ・ 1秒量…目一杯空気を吸った状態から一気に空気を吐き出し、はじめの1秒間でどれだけの空気を吐き出せたかを測定したもの

これらの数値の低下から病気を疑うことができます。

肺活量の低下 = 肺が硬くなるような病気（⇒間質性肺疾患など）、肺の動きが制限されるような病気（⇒胸郭変形、神経筋疾患、肥満、胸水貯留など）

1秒量の低下 = 空気が吐き出しにくくなるような病気（⇒COPD、喘息など）

